

いざという時 慌てないための介護の予備知識

上手な任せ方を知りましょう。

アウトソーシングで幸せな介護を

幸せをつなぐ「ハッピーリング」



・介護される人の幸せ
・家族の精神的安定

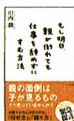
(NPO法人となりのかいご発行の冊子
『介護で家族を憎まないために』をもとに作成)



NPO法人
となりのかいご
代表理事

川内 潤
Jun Kawauchi

上智大学文学部社会福祉学科卒業。老人ホーム紹介事業、外資系コンサル会社、在宅・施設介護職員を経て、NPO法人「となりのかいご」を設立し、現職。ミッションは「家族を大切に思い、一生懸命介護するからこそ虐待してしまいう悲劇を絶つ」こと。



『もし明日、親が倒れても
仕事を辞めずにすむ方法』
川内 潤 著

親の面倒は子だけが見るべき？
介護のプロが、介護で本当に大切な心構えと任せ方をやさしく紹介。

日々のケアはプロに頼って
親の気持ちに寄り添う

介護にはいろいろな関わり方があり、正解はありません。働きながら、平日はデイサービスや休日にショートステイなどのアウトソーシングしながらの介護であっても、共に過ごす時間の長さに関わらず、親の気持ちに寄り添い愛情をもつて関わることは可能です。たとえば、元氣だった頃に釣りが趣味だった父親と一緒に、休日に水辺に出かけて散歩する。それだけでも親の気持ちは癒されるのです。私のようなプロでさえ、自分の親を冷静に介護するのは難しいもの。また、自分の子どもに下の世話をしてもらってうれしいと感じる親は少

ないのです。ですから、親子ともに
幸せな介護には、直接関わる部分を
介護のプロに頼ることが必要です。

また、介護は決して自分一人でき
るものではなく、ケアマネジャーを
はじめチーム全体で取り組むことが
重要。あなたはリーダーとしてチ
ームに感謝を表し、和やかな雰囲気
づくりを取り組みましょう。メンバ
ひとりひとりをきちんと名前と呼
んだり、感謝の気持ちを伝えたり。
あなたの日頃の「気遣い」が介護さ
れる方と全員をつなぐ幸せの輪
「ハッピーリング」の元になります。
こうした前向きな考え方で少しで
も気持ちよく、よりよい介護の輪を
つなぐことで、無理なく親孝行が
できるのです。

* デイサービス：要介護状態にある高齢者の入浴、排せつ、食事等のケアを日帰りで行います。施設の方が自宅から施設まで送迎もしてくれます。

** ショートステイ：在宅介護中の高齢者の状況に合わせて短期間施設に入所し、日常生活全般の介護を受けることができるサービス。65歳以上で「要支援」「要介護」と認定された方が利用できます。

Q & A

Q 正しく要介護認定を受けるためには？

A 要介護度の認定は、訪問調査の結果に基づいて決定しますが、その際は、ご家族が同席するのが大切。本人任せにすると怖がったり、必要以上に元氣なところを見せるなど、正しい認定が受けられなくなることがあります。ですから、家族から、日常的にできなくなった点などをメモにして渡し、ふだんの生活を知ってもらうのが正しい認定を受けることにつながります。

